

平成 28 年度

事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

グループホーム 草原の風

目次

1. はじめに	1
2. 利用者状況	1～2
3. 福祉事業報告	2～3
4. 健康、食の管理	3
5. ホーム内外におけるトラブル・苦情対応	3
6. 防災関連	3～4
7. 職員処遇	4
巻末	添付資料（利用者実績表）

1、はじめに

今年度は、4月に熊本地震があり、ここ阿蘇も大変な被害をもたらし、事業所も建物等の揺れに伴い、大変な被害を受けて、水道、電気等も切断され、水に関しては、2週間ほど、手水で部屋に持ち帰り水回り等に使ってもらう日々の生活を余儀なくされ、利用者さんには、大変な迷惑をおかけした。そうゆう中で一番気を配ったのは、健康面で、利用者さんの方々の健康維持に努めた年でもあった。

利用者さんの高齢化が進んでいる中、半数以上が50代以上となり認知症が進み日中の作業が苦になり、部屋で過ごす日々が多くなった方もおられ、市町村、医療機関、同法人（ホット館）と相談しながら介護認定の手続き等を、行い高齢化になっていく利用者さんに特に向き合った年でもあった。

2、利用者状況（平成28年3月末現在）

定員27名に対し今年度（3月末）は、25名でした。現在の利用状況は、以下の通りとなりました。

平均利用者数 22.76名 年間平均利用率 92.59%

グループホームの利用率は、昨年より3%ほど下回った。その中で今年度も長期入院のため利用のない部屋と、自宅から通って来てあまり、ホーム利用がない方もおられた。次年度は、ホーム利用率を上げると共に、利用者さんが、もっと住みよい環境を作っていくこと目指します。

新規利用者及び退所者の状況

新規利用者：1名 退所者：2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
新規											1		
退所						1		1					
利用者数	26	26	26	26	26	25	25	24	24	24	25	25	
入院	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	

本年度の新規利用者は、1名入居であった。退去者は、2名で私的的理由による退所でした。

（利用実績は、別紙資料を参照）

利用者年齢別状況

年齢	知的		身体		精神		計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～30	2	1			1 (1)		3	1
31～40	4 (2)		1		2 (1)		4	
41～50	1		1				2	
51～60	5 (2)	3 (2)	7	3	3 (3)		10	3
61以上	2				1 (1)		2	
計							20	4

※ () 重複されている方

3、福祉事業報告

管理者1名 サービス管理責任者1名 世話人3人(兼務)

利用者さんのニーズをもとに支援計画を作成し、地域生活をよりよく過ごせる為の支援をおこなってきた。

社会生活を送る上での情報の提供や個々の悩みや希望などの相談といった支援に取り組み生活における身の回りの支援については、地震から特に、利用者さんの不安を少しでも取り除きたく声かけ、助言相談等を特くに、心がけて、少しでも皆さんの気持ちに沿えるよう支援をおこなった。

その間本年度は、満床に近かったグループホーム利用率でしたが、前半と後半で出入りがあり、最終的な支援費が、昨年とほぼ人数は、変わりはないのだが、月の利用率が少なかった月もあり、下記の通り過去2年間と比較しても支援費が下回った年となりました。

草原の風 3ヶ年収入推移 【平成26年度～平成28年度】

	自立支援給付費
平成26年度	12,686,050
平成27年度	13,001,490
平成28年度	12,256,302

4、健康、食の管理

健康面で、だんだん高齢化していく中、利用者さんの体調や精神状況の変化に特に気を配り支援してきた。利用者さんが安心して一日を過ごせるよう医療機関等との連携を行い、緊急時の対応に努めた。

本年度は、転倒による骨折者が2名ほどでて、介助的などころからホームではなく自宅での静養、治療など予期なくされたので、月に2～3度の連絡等をし安否確認等をおこなった。

ほかの利用者さんに対してもケガなどの危機管理体制を強化した。

食の面では、バランスの取れた献立、高齢化していく中での栄養管理量の管理、間食などの管理等も調整し病気などにつながらないように、話し合いながら、助言支援をおこなった。

その為、病状の悪化や病院入院につながる方は、本年度は、出なかった。

5、ホーム内外におけるトラブル・苦情対応

ホーム内では、ルール等を設けてあるが、なかなか守れず、利用者さん同士のトラブル施設外での問題行動による苦情等が発生したが、日中活動事業所との連携により、苦情対応に努めた。

問題行動の多い利用者さんに対しての見守り、助言を強化し新しいルール等の取り入れなどしトラブルの再発防止に務め利用者さんの認識を再確認し問題解決に繋げた。今後もこのような状況に対応できるよう、職員の育成に役立ていきたい。

6、防災関連

本年度のような緊急時に備えて防災マニュアルををもちに非常時を回避できるよう、避難訓練や設備の管理等、及び火元の管理などの強化に努めた。

毎年2回の施設での非難訓練に伴い、グループホームの安全確保のために本年度も8月と2月にホーム内の自主安全点検を行いました。点検時に地震で破損した部分が見つかりその部分の修繕等をおこなった。

- ・防災マップの再確認

- ・避難訓練の実施
- ・再発防止に向けたマニュアルの策定
- ・避難通路の確保
- ・消火設備の点検及び交換
- ・非常食の確保
- ・退勤時の点検

7、職員処遇

グループホームでの状況報告を行い、日中活動事業所との合同職員会議をおこなった。A型、B型事業所での利用者さんの様子など聞き取りし支援に役立てた。世話人同士の申し送り等を密にし、報告、連絡、相談等を速やかにし情報の伝達ミスのないようにした。

実務に役立つ各研修や講習会などにも積極的に参加しサービスの向上実務に役立てた。